

災救通信

平成27年
12月1日
第7号

発行

天理教
災害救援
ひのきしん隊
北海道教区隊

逐次発行



全道支部 隊長会議 開催

災救隊北海道教区隊では平成27年11月1日教区スタッフを含む26名が出席し、全道支部隊長会議を教務支庁に於いて開催した。会議では宣誓唱和に続き、新教区スタッフ2名に辞令が交付された。会議は主に来年度の活動について話し合いが持たれ、平時訓練実施に向けての相談や近隣支部が協力しての訓練のあり方などについてねりあいを行った。

また、今年実施した『北海道ブロック訓練』についての感想や要望なども発表され、今後の災救隊活動に活かすことの出来るようねりあいを進め、有事における各支部での情報収集と教区への連絡についての確認を行った。更にまた、会議に続いて2班に分かれて教務支庁周辺で神名流しを行い、短時間ではあったが、地域ひのきしん活動の具体的実践と



全道支部隊長会議に先立ち、宣誓唱和。

『宣誓』

我々は、

天理教災害救援ひのきしん

隊員であります。

一れつ兄弟の自覚に立ち、真実をもって救援活動にあたります。



寺澤信彦、布野真理の2名に教区スタッフとして副隊長補の辞令が交付された。

して、布教活動を実施した。活動後は教区夕づとめを参拝し教務支庁食堂で懇親会を行い、教区長先生はじめ教区主事先生にもご出席をいただいで和やかなひと時を過ごし、今後の活動への鋭気を養った。

なお、翌早朝からはブロック訓練後すぐに整理が出来なかつた教区隊倉庫の整理を、教区隊スタッフと支部隊長有志が終日かけて行った。

現在、教区隊は会議での課題を受け検討を行っている。

ねりあい全体発表

①ブロック訓練を終えて

- ・先輩隊員が範を示して下さり、生活、現場の各部署が充実していたように思う。支部隊でも職掌を決めて訓練を実施したい。
- ・食事の量が多く大満足であったが、作業の量は雨天の影響からか少なくて残念であった。
- ・宿営地では放送設備が充実し、連絡もスムーズに伝達出来ていたようだが、本部↓教区↓各班への連絡は相違があることがあった。
- ・ゴミの処理について役場と打ち合わせしたものの詰めが甘かったのではないかと反省している。



若松氏、野崎氏、藤田氏、小林氏。

- ・せっかく本部主催なのだから、もっと有事を想定した訓練を行ってほしかった。
- ・班旗の扱いが徹底されていなかった。誰が、いつ、どのように使うのか、持ち歩くのか等。また、危険防止用にホイッスルを用意していたがうまく使えていなかった。
- ・少人数でテント泊なのでコミュニケーションがうまく取りずらかった。
- ・良い訓練であった。もっと動員をかけるべきであったと反省している。



成田氏、鈴木氏（上）と野村氏（下）

②地域ひのきしん活動の推進

- ・**②地域ひのきしん活動の推進について**（支部での定期的、継続的活動と布教部、青年会との活動の連携について）
- ・ひのきしんデーでは支部全体の活動として連携は取れている。
- ・現状では定期的、継続的活動（布教実動を含め）むずかしい。
- ・まずは自分から、自教会から、信者さんからということも大切ではないか。

③道内をブロックに分け

平時訓練出来るか（道内を6ブロックに分け当番制でその地域が主で訓練を行う）

- ・全体意見として従来のように教区が主体で訓練を行った方が統率、一体感が生まれ良いと、分けた方が地域に力が付き、予算軽減にもつながるのでは、と賛否が半々に分かれた。

（近隣支部合同での活動について）

- ・冬期間の除排雪ひのきしん、訓練は支部で既に実施している。早めに計画を知らせると参加できる支部もあり、合同訓練が出来る。



札幌4支部と近郊支部でのねりあい。



教務支庁から南北2班に分かれ、神名流し。帰宅する人々によろづよ八首が響く。



教区隊物品倉庫整理

11月2日、支部隊長会議の翌日早朝より、教務支庁にある災救隊物品倉庫の整理を行った。作業を進めるにあたり、ブロック訓練後に一時置きをした物品や、これまでの諸活動で使用した作業資材と生活、庶務物品などを倉庫前にすべて搬出するところから開始をした。

ちようどの日は支部長会議が行われていたが、倉庫外のブルーシートに出された物を、会議室から見た方の中には、あまりの多さに、「これは今日は終わらないなあ」とさえ思う程の物が出し置かれた。



次にガランとした倉庫に新たな棚を付けたり補強したりと、物を出し入れしやすい手が施された。また、同時に物品や資材のチェックも行われ、再収納の手はずが整った。

そこへ、とても有難いことに、支部長会議を終えたばかりの逢見八雲支部長兼隊長が加勢して下さり、大きな力となった。庶務が言うには彼は収納(手際)の達人だとのことで、「はい、これはどこに置くの。これは、これは。」とおられたことが良かったという。

他にも藤田網走支部隊長や有志が協力して下さったおかげにより、日没前に再収納が出来た。みなさまありがとうございました。



ガランとした倉庫。



達人の逢見隊長！

平成28年度 平時訓練予定地 現場下見

平成27年11月5日、支部隊長会議を受け、実施方法を工夫して平時訓練実施の方向で早速準備に入り、候補地数カ所の中から倶知安支部管内の岩内町に訓練地をしぼり下見を行った。

作業予定地は岩内町営のスキー場で、コース内の草刈りや雑木伐採の依頼を受けている。

今回の下見では特に宿营地の下見が実施の鍵を握っていて、様々な意見交換がなされた。今のところ有料で町営キャンプ場を借りる予定だが、料金の問題や仮設厨房の事、更にはセレモニー場所や一般客への配慮等々話し合われた。下見には教区隊長、副隊長、庶務が出向き、また、現地ではご多用の中、原田倶知安支部長、加藤災救隊長も同行いただいた。

現在は、町関係者と最終確認中で、正式に訓練が決定し次第お伝えさせていただきます。

なお、訓練実施日は、

平成28年8月29日、30日、31日

の2泊3日を予定している。



町営キャンプ場の
センターハウス
(管理棟)



岩内町現場担当者との打ち合わせ。



スキー場では特殊車両で草刈りが行われていた。

北海道教区隊ブロック分け

平成27年11月1日現在

道南（どうなん）	担当 菅野智司	函館・渡島・八雲・倶知安
道央（どうおう）	担当 今里秀道	余市・小樽・札幌中南・白豊・北西・東
道振（どうぶり）	担当 高坂正道	千恵広・苫小牧・室蘭・日高
道中（どうなか）	担当 寺澤信彦	南空知・空知・天龍・旭川・上川・富良野
道東（どうとう）	担当 野崎敏治	十勝・釧根・網走・北見
道北（どうほく）	担当 高石博幸	紋別・天塩・宗谷